

- 1 競技は（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブック及び大会要項（岡山県中学校体育連盟ソフトテニス部大会出場規定）にしたがって行う。
- 2 コート割り及び進行は、本部の指示によって行う。本部からの放送には十分注意すること。
- 3 試合球は公認球とし、ケンコーボール、アカエムボール、ダンロップボールを使用する。
- 4 マッチは7ゲームとする。
- 5 若い番号のチーム（ペア）は、正審から見て左側になるようにベンチに入る（会場によっては変更する場合もある）。
- 6 団体戦について
 - (1) 3ペアの点取り対抗戦とし、2点を先取したチームを勝者とするが、どちらかのチームが初戦の試合については、3マッチすべて行う。県総体については、準決勝以後は上位4チームによるリーグ戦を行う。
 - (2) オーダー用紙については、監督・外部指導者（コーチ）がコート上で正審に手渡し、対戦チームのオーダーを確認する（正審は各チームのオーダーを大会プログラムの「出場選手一覧」と照合する）。
 - (3) コートへの入退場は、本部の指示に従うこと。
 - (4) サービス（レシーブ）とサイドの決定は、3ペアの対戦ごとにコートで行う。
 - (5) 審判については、県総体は原則として正審は敗者校の監督・外部指導者（コーチ）が、副審は敗者校の選手が行う。秋季大会は敗者校の生徒審判とする。なお、各コートの初戦の審判は組合せと併せて連絡する。
 - (6) 異議の申し立ては、警告（イエローカード）の対象とする。
- 7 個人戦について
 - (1) 前の試合が始まる時にはベンチ待機を完了しておくこと。試合前の呼び出しは原則として行わないので、進行に十分注意すること。（令和3年度は変更して行う。）
 - (2) コートへの入退場は、本部の指示に従うこと。
 - (3) 審判は敗者審判とする。なお、各コートの初戦の審判は組合せと併せて連絡する。
 - (4) 異議の申し立ては、警告（イエローカード）の対象とする。
- 8 監督・外部指導者（コーチ）について
 - (1) 団体戦・個人戦ともに、参加申込時に登録した監督（出場校の校長・教員、部活動指導員）または外部指導者（コーチ）いずれか1名のベンチ入りを認める。
 - (2) マッチ中に選手に助言する場合は、サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る前のインターバルの1分以内（45秒でレッツプレイ）とし、監督・外部指導者（コーチ）が所定のベンチで行うこと。
- 9 マナー・応援について
 - (1) プレーヤーはお互いにマナーを尊重し、過度の掛け声を発したり、相手を不快にさせる言動を取ったりしないこと。
 - (2) プレーヤーはアンパイヤーの指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。（相手プレーヤーを待たせる）遅延行為に対しては警告（イエローカード）を与える。
 - (3) 応援については、試合をスムーズに進行させるため、過度にならない（選手のプレーやアンパイヤーの判定・コールに支障がない）ように心がけること。